

---

# 四百字のヒマつぶし「夢の遊園地」

腎臓大事マン

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

四百字のヒマつぶし「夢の遊園地」

### 【Nコード】

N5130BA

### 【作者名】

腎臓大事マン

### 【あらすじ】

原稿用紙1枚におさまる  
(たまに少し出てますが)  
ショートショートを  
少しずつ上げていきます

質はマチマチですが

ヒマつぶしにでも

お使いくださると

ありがたく思います。

物語は1話完結モノ  
好きなタイトルから  
お読みください。

感想、いただいた経験が  
ないので、くださると  
嬉しいです。

幼い頃から繰り返し見る夢がある。

最初はどこへ向かっているか分からなかったのだが、大人になるにつれ、遊園地を目指していることが分かった。

ある時は徒歩で、ある時は自転車で、ある時はバスで、その場所に行くための道を進んでいる。風景は常に同じで賑やかなアーケードや、緑溢れる公園、大きなターミナルなどを行きすぎる。登場する人たちは、皆自分が好きだった人、好いてくれた人ばかりで、自然とウキウキしながら、遊園地を目指す。

残念なことに、あと少しで遊園地が見える頃合いで、その時々で一番自分の身近にいる人がふと現れ、どんどん間違った方向へと導いていくので、終いには工場のような場所に出てしまい、目が覚めるのが常である。

本日は若い頃の細君が登場した。夢とて分かるのだが、彼女は数年前に老衰で死んだ。今日こそは間違えずに遊園地に連れて行ってくれるらしい。若返った二人は浮かれて遊園地の門をくぐった。

「…午前5時20分、ご臨終です」

その老人は何とも安らかな顔で永遠の眠りについたという。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5130ba/>

---

四百字のヒマつぶし「夢の遊園地」

2012年1月14日04時54分発行